

全国一級河川の水質調査結果について



国土交通省は、毎年 7 月に全国一級河川の水質調査結果を公表しています。2021 年に「水質が最も良好な河川」に選ばれたのは 12 河川でした。このうち、荒川(福島県)、川辺川(熊本県)は 10 年以上連続で選出されています。なお、「水質が最も良好な河川」とは、国土交通省が実施している調査において、各調査地点の BOD の年間平均値及び BOD75% 値について、全調査地点で平均を取った値が 0.5 mg/L である河川です。

BOD 又は COD の環境基準を満たした調査地点の割合は 90%(896 地点/991 地点)で、河川では 96%(853 地点/889 地点)、湖沼等(海域含む)では 42%(43 地点/102 地点)でした。

健康項目全体の環境基準を満たした割合は全国では 99%(前年 99%)となっています。

また、水質事故の発生件数は 740 件で近年減少傾向になっています。

関東地方では、BOD または COD が環境基準を満たした調査地点は 167 地点中 139 地点で、全体の 83%となり、2020 年と比較すると下がりましたが、近年 10 年で横ばい傾向でした。

また、すべての調査地点において健康項目全体の環境基準を満たしていました。

水質事故の通報件数は 220 件で、2020 年と比較すると 37 件増加しています。なお、水質事故における原因物質の 78%が油類の流出によるものでした。

当社では、河川水等の環境水分析に加え、排水分析の各種項目についても長年の実績があり、短納期・多検体での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 [2022 年 7 月 7 日付 国土交通省報道発表資料](#)

環境検査箇所 武井友宏

